



第36回 HIP研究会関西支部例会

テーマ「今、在宅医から薬剤師に求める専門性」

日時：令和7年1月26日（日）13：30～15：40

会場：近商ビル10F（10A）←1Fが つるまる饅頭のビルです

大阪市西区北堀江1-1-24

大阪メトロ・四つ橋線「四ツ橋」駅 3番出口より徒歩30秒

大阪メトロ・御堂筋線「心斎橋」駅 北改札から徒歩7分程度



↑会場へのアクセスはこちら

参加費：500円

申し込み方法は裏面へ

●総合司会

株式会社ユニスマイル 福田 頼子先生

●開会挨拶 13：30～13：35

大阪市西区薬剤師会 常松 明生先生

(あみだ池漢方薬局)

●事例報告 13：35～14：15

事例1 『在宅おくすり相談窓口設置の効果と今後』

大阪市西区薬剤師会 副会長 村井 扶先生

事例2 『はじめての高カロリー輸液患者への対応』

カルナ薬局 池内 亜希先生

●情報提供 14：15～14：25

『12月収載品のご案内』

ニプロ株式会社

〈休憩 5分〉

●特別講演 14：30～15：30

座長 あけぼの薬局 村井 扶先生

『高カロリー輸液・麻薬持続投与患者における薬剤師に求める専門性

～こんな情報があると有難い～』

おきしろ在宅クリニック 院長 沖代 奈央先生

●次回開催案内 15：30～15：35

あけぼの薬局 村井 扶先生

●閉会挨拶 15：35～15：40

HIP研究会関西支部長 山本薬局本店 山本 新一郎先生

<担当世話人から一言>

事例報告として、第29回HIP研究会関西支部例会で報告されました（大阪市）西区薬剤師会に設置した「在宅おくすり相談窓口」の効果と今後の取り組みについての報告、高カロリー輸液患者の処方に初めて対応した薬局の事例報告を予定しています。特別講演では、今年度の医療・介護報酬同時改訂を受け、麻薬投与中の患者や高カロリー輸液や麻薬持続投与中の患者に対し、薬剤師が確認すべき内容、評価方法などを在宅医の立場から、おきしろ在宅クリニック沖代奈央先生よりご講演いただきます。麻薬投与されている患者さんに何を聞けばいい？注射薬の対応ってちょっと心配。。。などなど日頃の業務の不安や疑問をみんなで解決できる会にしたいと考えています。

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度 1単位(予定) 当日ご自身のQRコードをお忘れなく！！

日本緩和医療薬学会認定講習会 1単位(予定)

ご記載いただいたご施設名、ご芳名は医薬品の適正使用情報および医学/薬学に関する情報の提供のために利用させていただくことがございます。

共催：HIP研究会関西支部・大阪市西区薬剤師会・ニプロ株式会社

現地開催のみ(**WEB参加なし**) 先着60名！！
直前申し込みOK！
ただし、60名に達した時点で締め切ります

URLまたはQRコードでのお申し込みの方

<https://forms.gle/vMHi8aRQz25dcTo86>

または



FAXでのお申し込みの方

氏名： _____

施設名： _____

施設の所在地(都道府県)： _____

電話番号： _____

※日本緩和医療薬学会の単位をご希望の方は

会員番号(10桁)をお願いします

⇒ _____

FAX 06-6536-0015 までお願いします

この講演会に関するお問い合わせは
下記メールアドレスまでお願い致します。

問い合わせ先：あけぼの薬局 (担当 村井)
akebono-ph@sunny.ocn.ne.jp